

2020年度 年度 授業計画(シラバス)

学 科	診療放射線技師学科(昼間部)		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	解剖生理学IV		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年次		学期及び曜時限	後期	教室名	第3校舎901教室
担 当 教 員	星野 貴志	実務経験と その関連資格				
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>解剖生理学では、診療放射線技師として医療にたずさわるために必要な生体の構造と機能、免疫システムについて学ぶ。特に重要と考えられる肉眼的解剖について、名称、形態、相互の位置関係等を習得する。解剖生理学IVでは、上肢、脊柱、頸部の構造と機能、画像解剖を理解する。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>筆記試験(70%) 出席点(20%) 平常点(10%)</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>教科書 「入門人体解剖学」 藤田恒夫 著 南江堂 「若葉マークの画像解剖学」 磯辺智範 編 MEDICAL VIEW</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、使用教科書等を用いて事前学修(予習・復習)すること。</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>解剖生理学は医療従事者にとって必須の科目であり、臨床医学を学ぶ上での土台となります。また国家試験でも、幅広い知識が問われます。授業のみでは理解は深まりませんので、積極的に予習・復習を行う習慣を身につけましょう。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	上肢骨格の部位名称を列挙できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。	
		各コマにおける授業予定	上肢の骨格 ①			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	上肢骨格の部位名称を列挙できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。	
		各コマにおける授業予定	上肢の骨格 ②			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	上肢関節を構成する各部位名称を列挙できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。	
		各コマにおける授業予定	上肢の関節、筋、靭帯 ①			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	上肢関節を構成する各部位の名称を列挙できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。	
		各コマにおける授業予定	上肢の関節、筋、靭帯 ②			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	上肢血管名を列挙できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。	
		各コマにおける授業予定	上肢の血管 ①			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	上肢血管の位置関係を説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	上肢の血管 ①		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	単純X線画像で描出された、肩関節の各部位名称を列挙できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	上肢の単純X線画像解剖 ① (肩関節)		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	単純X線画像で描出された、上腕、前腕の各部位名称を列挙できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	上肢の単純X線画像解剖 ② (上腕、前腕)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	単純X線画像で描出された、肘関節の各部位名称を列挙できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	上肢の単純X線画像解剖 ③ (肘関節)		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	単純X線画像で描出された、手関節の各部位名称を列挙できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	上肢の単純X線画像解剖 ④ (手関節)		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	単純X線画像で描出された、手根骨、中手骨の各部位名称を列挙できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	上肢の単純X線画像解剖 ⑤ (手根骨、中手骨)		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	単純X線画像で描出された、手指の各部位名称を列挙できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	上肢の単純X線画像解剖 ⑥ (手指)		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	X線CT画像により描出される上肢各器官の名称を列挙できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	上肢のX線CT画像解剖 ①		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	X線CT画像で描出される上肢各器官の位置関係を説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	上肢のX線CT画像解剖 ②		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	X線CT画像で描出される上肢各器官の位置関係を説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	上肢のX線CT画像解剖 ③		

2020年度 年度 授業計画(シラバス)

学 科	診療放射線技師学科(昼間部)		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	解剖生理学IV		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年次		学期及び曜時限	後期	教室名	第3校舎901教室
担 当 教 員	星野 貴志	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》 解剖生理学では、診療放射線技師として医療にたずさわるために必要な生体の構造と機能、免疫システムについて学ぶ。特に重要と考えられる肉眼的解剖について、名称、形態、相互の位置関係等を習得する。解剖生理学IVでは、上肢、脊柱、頸部の構造と機能、画像解剖を理解する。						
《成績評価の方法と基準》 筆記試験(70%) 出席点(20%) 平常点(10%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》 教科書 「入門人体解剖学」 藤田恒夫 著 南江堂 「若葉マークの画像解剖学」 磯辺智範 編 MEDICAL VIEW						
《授業外における学習方法》 シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、使用教科書等を用いて事前学修(予習・復習)すること。						
《履修に当たっての留意点》 解剖生理学は医療従事者にとって必須の科目であり、臨床医学を学ぶ上での土台となります。また国家試験でも、幅広い知識が問われます。授業のみでは理解は深まりませんので、積極的に予習・復習を行う習慣を身につけましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	授業を通じての到達目標	MRI画像により描出される上肢各器官の名称を列挙できる。		教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。	
	各コマにおける授業予定	上肢のMRI画像解剖 ①				
第17回	授業を通じての到達目標	MRI画像で描出される上肢各器官の位置関係を説明できる。		教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。	
	各コマにおける授業予定	上肢のMRI画像解剖 ②				
第18回	授業を通じての到達目標	MRI画像で描出される上肢各器官の位置関係を説明できる。		教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。	
	各コマにおける授業予定	上肢のMRI画像解剖 ③				
第19回	授業を通じての到達目標	上肢領域の各血管の名称と位置関係を説明できる。		教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。	
	各コマにおける授業予定	上肢領域の血管造影画像解剖 ①				
第20回	授業を通じての到達目標	上肢領域の各血管の名称と位置関係を説明できる。		教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。	
	各コマにおける授業予定	上肢領域の血管造影画像解剖 ②				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	上肢領域の各血管の名称と位置関係を説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	上肢領域の血管造影画像解剖 ③		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	上肢領域における各種検査画像解剖について説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	上肢領域まとめ		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	上肢領域における各種検査画像解剖について説明できる。	特になし	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	確認テスト(中間テスト)		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	脊椎の部位名称を列挙できる。 椎骨、脊髄の位置関係を説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	脊椎、脊柱の解剖生理学		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	頸部領域の骨、筋肉の名称を列挙でき、その位置関係を説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	頸部領域の解剖生理学 ① (骨、筋)		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	頸部領域の血管名称を列挙でき、その位置関係を説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	頸部領域の解剖生理学 ② (血管系)		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	頸部領域に存在する器官の名称を列挙でき、その位置関係を説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	頸部領域の解剖生理学 ③ (その他器官)		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	単純X線画像で描出された、頸部の各部位名称を列挙できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	頸部単純X線画像解剖 ①		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	単純X線画像で描出された、頸部の各部位名称を列挙できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	頸部単純X線画像解剖 ②		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	単純X線画像で描出された、頸部の各部位の位置関係を説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	頸部単純X線画像解剖 ③		

2020年度 年度 授業計画(シラバス)

学 科	診療放射線技師学科(昼間部)		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	解剖生理学IV		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年次		学期及び曜時限	後期	教室名	第3校舎901教室
担 当 教 員	星野 貴志	実務経験と その関連資格				
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>解剖生理学では、診療放射線技師として医療にたずさわるために必要な生体の構造と機能、免疫システムについて学ぶ。特に重要と考えられる肉眼的解剖について、名称、形態、相互の位置関係等を習得する。解剖生理学IVでは、上肢、脊柱、頸部の構造と機能、画像解剖を理解する。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>筆記試験(70%) 出席点(20%) 平常点(10%)</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>教科書 「入門人体解剖学」 藤田恒夫 著 南江堂 「若葉マークの画像解剖学」 磯辺智範 編 MEDICAL VIEW</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、使用教科書等を用いて事前学修(予習・復習)すること。</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>解剖生理学は医療従事者にとって必須の科目であり、臨床医学を学ぶ上での土台となります。また国家試験でも、幅広い知識が問われます。授業のみでは理解は深まりませんので、積極的に予習・復習を行う習慣を身につけましょう。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第31回	講義形式	授業を通じての到達目標	X線CT画像により描出される頸部領域各器官の名称を列挙できる。	教科書 配布資料		プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	頸部X線CT画像解剖 ①			
第32回	講義形式	授業を通じての到達目標	X線CT画像により描出される頸部領域各器官の名称を列挙できる。	教科書 配布資料		プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	頸部X線CT画像解剖 ②			
第33回	講義形式	授業を通じての到達目標	X線CT画像により描出される頸部領域各器官の位置関係を説明できる。	教科書 配布資料		プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	頸部X線CT画像解剖 ③			
第34回	講義形式	授業を通じての到達目標	MRI画像により描出される頸部領域各器官の名称を列挙できる。	教科書 配布資料		プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	頸部MRI画像解剖 ①			
第35回	講義形式	授業を通じての到達目標	MRI画像により描出される頸部領域各器官の名称を列挙できる。	教科書 配布資料		プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	頸部MRI画像解剖 ②			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第36回	講義形式	授業を通じての到達目標	MRI画像により描出される頸部領域各器官の位置関係を説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	頸部MRI画像解剖 ③		
第37回	講義形式	授業を通じての到達目標	頸部領域に存在する各血管の名称と位置関係を説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	頸部領域の血管造影画像解剖 ①		
第38回	講義形式	授業を通じての到達目標	頸部領域に存在する各血管の名称と位置関係を説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	頸部領域の血管造影画像解剖 ②		
第39回	講義形式	授業を通じての到達目標	頸部領域に存在する各血管の名称と位置関係を説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	頸部領域の血管造影画像解剖 ③		
第40回	講義形式	授業を通じての到達目標	超音波画像により描出される頸部領域各器官の名称を列挙できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	頸部領域の超音波画像解剖 ①		
第41回	講義形式	授業を通じての到達目標	超音波画像により描出される頸部領域各器官の名称を列挙できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	頸部領域の超音波画像解剖 ②		
第42回	講義形式	授業を通じての到達目標	超音波画像により描出される頸部領域各器官の名称を列挙できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	頸部領域の超音波画像解剖 ③		
第43回	講義形式	授業を通じての到達目標	核医学画像により描出される頸部領域各器官の名称を列挙できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	頸部領域の核医学画像解剖 ①		
第44回	講義形式	授業を通じての到達目標	核医学画像により描出される頸部領域各器官の名称を列挙できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	頸部領域の核医学画像解剖 ②		
第45回	講義形式	授業を通じての到達目標	頸部領域における各種検査画像解剖について説明できる。	教科書 配布資料	プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	頸部領域まとめ 総括		